



学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第426号
横浜市立みだけ台中学校
令和4年5月27日

学校教育目標：めざします！生き生きと楽しく笑顔あふれる学舎（まなびや）を！！

日々の取組の中から

副校長 金田 貴子

5・6・7組の畑のいちごの苗にかわいらしい花が咲き、小さな実がつきました。中には、もうすっかり赤くなった実もあります。まだ風が冷たい中、校庭のブロック塀前のかたい土を、力を合わせて耕し畑にするところからスタートした活動でしたが、こうして収穫を間近にすると、喜びとともに、次は何を育てるのかな、と、次の活動への期待につながります。



下の写真は、金木工室裏の藤棚の下に植えられた草花です。これまで苔や下草に覆われていた地面を耕し、5・6・7組と生徒会の生徒で植えました。正門前にも植えられています。植えられた草花は「ガーデンネックレス横浜2022」で使われていたものです。イベント終了後、美



しい状態にもかかわらず花が廃棄されてしまう「フラワーロス」問題。このように、再利用することで、まだまだ私たちの心を癒してくれ、持続可能な社会について考えるきっかけにもなります。しばらくして咲き終わった花を、さらに、どのように生かすことができるか考えるのも、新し

い気づきや楽しみになります。

5月は、3年生の修学旅行、2年生の自然教室、体育祭に向けての取組と、大きな行事を通してたくさんの学びがありましたが、こうした日々の取組の中にも、次の学び、豊かな学びへとつながる機会があるということ、大切にしたいものです。

※ わいせつ・セクシャルハラスメントの相談窓口の案内

生徒に対する行為に関する相談窓口担当者

養護教諭 日野 裕子 生徒指導専任 葦埜 達也

教職員に対する行為に関する相談窓口担当者

副校長 金田 貴子

また、教育総合相談センター（一般教育相談）でも相談できます。

TEL 671-3726（月～金 9:00～17:00 祝日・振替休日を除く）

3 学年修学旅行

スローガン その瞬間を学びと笑顔に ～古都を身近に感じよう～

5月13日(金)～15日(日)の2泊3日で、修学旅行に行ってきました。1日目は、クラス別に京都を見学しました。1組は伏見方面、2組は宇治方面、3組は嵐山方面に行きました。夜は京都の宿に宿泊。2日目は班ごとに京都をタクシーで回りました。運転手さんが見学地のガイドをしてくださり、楽しいお話もたくさん聞きました。この日は奈良公園に近い宿に宿泊。夜は奈良公園で「なら燈花会」の体験をしました。クラスごとに協力してろうそくの明かりで絵を描き、できあがった光のアートは幻想的で、達成感がありました。3日目は、たくさんの鹿が山から下りてくる「鹿寄せ」の体験から始まり、東大寺や奈良公園、そして法陸寺の見学をしました。

古都の魅力を感じ、文化を学び、みんなで楽しむことができた3日間でした。みんなが集団行動を意識して、ルールやマナーを守り、メリハリをつけて行動できたことが素晴らしいです。

みんなの成長をたくさん感じた3日間でした。

3 学年主任 三宅恵美



【生徒の振り返りから】

- ・一番うまくいったのは、燈花会をみんなと協力して成功させることができたこと。そして、今まで は寺や大仏にあまり興味を持てなかったが、行ってみて気づいたことがたくさんあった。歴史を知り、夢中になることができた
- ・夜にやった燈花会がとても印象に残った。 ・ホテルで部屋のみんなど遊んだことが楽しかった。ふだんあまり会話しない人たるとも、話をすることができて楽しかった。 ・仏像や建物は、写真やテレビで見ると迫力があって感動した。 ・たくさん調べ学習をしたけど、本物には言い表せないほどの迫力があつた。
- ・時間厳守でも余裕を持って行動できるようになったのが、今回の修学旅行で成長できたことだ。
- ・ルールを守ってみんなで楽しく修学旅行ができて良かったと思う。クラスの仲がより深まった。
- ・全体的に on と off の切り替えがすばやくできていて、団体行動なのにめんどくさいことが何もなく、「楽しい」がたくさん詰まった3日間でした。



自然教室から帰ってきました！



5月15日（日）から2泊3日で行われた蓼科高原での自然教室は、ほぼ計画通りに進めることができました。帰ってきてからもう3日も経つなんて、何だか信じられないような気がします。生徒のみなさんの中には、蓼科での3日間がまるで夢の世界のような人もいられるかもしれませんね。

出発前は少しお天気が心配されましたが、現地では曇り空が続き一度も雨具の出番はありませんでした。それでは3日間の行程を振り返ってみたいと思います。

1日目

朝の集合時には全員がきちんと集まり、バスで一路、長野へ。バスに揺られて車山高原へ。大自然に囲まれた高原で準備して下さったお弁当を新鮮な空気と一緒に平らげました。ハイキングでは、約45分かけて車山山頂に到着しました。すれ違う登山客と元気よく挨拶を交わす生徒が沢山いましたね。クラス写真、学年全体写真を撮ってリフトを使って下山。空中散歩では絶景に歓声があがっていました。入村式を済ませ、夕食では一人ひとりが黙食について考えるきっかけになりました。生徒のみなさんは、翌日の朝食ではちゃんと応えてくれましたね。八ヶ岳自然文化園ではプラネタリウムと星空観察を行いました。星空観察はあいにくの空模様。満天の星空はいつかまた蓼科へ出かけるときの楽しみにしておきましょう！

2日目

6:40の朝の集いに全員がきちんと集まりました。この日は一日農村体験。受け入れ先の農家さんによって作業の内容は異なるようで、ジャージが泥だらけになる程の活動をした班もありました。生徒のみなさんは本当に一生懸命取り組んでいましたね。その様子から農家さんより沢山のお褒めの言葉を頂きました。農村体験終了後は、確かに疲労感はありませんでしたが、それ以上に充実感や達成感に満ちあふれたとても嬉しい表情でした。夕食後は、楽しみにしていたキャンプファイヤー。火の神と子分がトーチを使い、みんなで声を合わせてカウントダウンし点火。闇夜に燃え上がる火柱は幻想的であり、炎の迫力と力強さも感じました。炎を囲むようにレクとダンスを存分に楽しみました。レクで発せられた「みたけ台中サイコー！」の叫び声は大自然の山々とその場こいた一人ひとりの心に響くメッセージでした。

3日目

6:30の朝の集いに全員がきちんと集まりました。最終日は、鷹山ファミリー牧場で酪農体験。[トラクター乗車/魚つかみ/乳しぼり]乳しぼりの感触に、「意外と硬い」「ブニュブニュ」等様々な感想があり、トラクターでは「きゃー！」「わー！」と叫びながらもしっかりとゲージを握りしめていました。魚つかみでは超冷たい川に手足を浸け、マスを追いかけてました。昼食はローストビーフ丼を頂き、インストラクターさんから「いのち」について貴重な説明がありました。みなさんのメリハリのある行動により、1時間近く早くみたけ台中学校へ無事帰着することができました。

これだけ元気に活動できた自然教室は本当に久しぶりのことです。横浜の日常を離れ、大自然の中で、にぎやかに笑顔が溢れ、意欲的に活動し、真剣に話に耳を傾け、子どもたち一人ひとりが本当に輝いていました。

2学年の職員一同、これからも子どもたちと共に学び、歩いていきたいと思ひます。今後も様々な場面でお力添えをよろしくお願ひします。

令和4年5月20日 2学年主任 布沢 耕平

